

NY マーケットレポート (2016 年 12 月 14 日)

NY 市場では、米 FOMC の結果発表を午後に控えて様子見ムードも強まっており、序盤から限定的な動きが続いた。そして、FOMC では、1 年ぶりの利上げが決定されたことや、ドットチャートで来年の利上げペースが 9 月時点の 2 回から 3 回に引き上げられたことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇となった。また、米国の債券利回りが大きく上昇し、日米の金利差拡大が意識されたことから、ドル買い・円売りが強まり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ドル/円は、2 月 8 日以来の 117 円台まで上昇となり、ユーロ/円は 5 月 31 日、豪ドル/円は 1 月 4 日以来の高値を付ける動きとなった。

2016	年12月	14日(7	()			
TOKYO	終値	高値	安値	LONDON	高値	安値
USD/JPY	115.00	115.34	114.88	USD/JPY	115.24	114.89
EUR/JPY	122.48	122.66	122.31	EUR/JPY	122.53	122.14
GBP/JPY	145.67	145.95	145.55	GBP/JPY	146.00	145.22
AUD/JPY	86.25	86.41	86.17	AUD/JPY	86.44	86.22
EUR/USD	1.0650	1.0665	1.0621	EUR/USD	1.0656	1.0612
	1			*東京クローズ〜NYオー	ブンまでの高安	
NEW YORK	終値	高値	安値	米主要株価	終値	前日比
USD/JPY	117.09	117.40	114.78	米ダウ平均	19792.53	-118.68
EUR/JPY	123.26	123.41	122.19	S&P500	2253.28	-18.44
GBP/JPY	146.90	147.31	145.73	NASDAQ	5436.67	-27.16
AUD/JPY	86.71	86.87	86.30	日経225 (CME)	19340	+65
NZD/JPY	83.33	83.46	82.97	トロント総合	15197.18	-188.09
EUR/USD	1.0529	1.0671	1.0497	ボルサ指数	46220.54	-649.70
AUD/USD	0.7406	0.7526	0.7395	ボベスパ指数	58212.12	-1068.45
12/15 経済指標スケジュール				コモディティー	終値	前日比
09:00 【オーストラリア】12月消費者インフレ期待			NY GOLD	1163.70	+4.70	
09:30 【オーストラリア】11月失業率・11月雇用者数 14:00 【シンガボール】10月小売売上高			NY 原油	51.04	-1.94	
14:00 【フラガルール】10月小元元上同 15:00 【日本】11月工作機械受注			CMEコーン	362.00	+1.00	
16:00 【欧州】11月新車登録台数[EU-27]			CBOT 大豆	1023.75	-4.25	
16:00 【トルコ】9月失業率 16:00 【ノルウェー】11月貿易収支						
17:00 ~ 18:00			米国債利回り	本日	前日	
【仏】【独】【欧】12月製造業PMI・ 非製造業PMI			2年債	1.265%	1.162%	
17:30 【スイス】政策金利発表 17:30 【スウェーデン】11月失業率			3年債	1.573%	1.460%	
17:30 【スフェーテン】11万丈朱平 18:00 【ノルウェー】政策金利発表			5年債	2.038%	1.904%	
18:30【英国】11月小壳壳上高指数			7年債	2.372%	2.249%	
18:30 【南アフリカ】11月生産者物価指数 21:00 【英国】政策金利発表・英中銀議事録			10年債	2.571%	2.471%	
21:00 【央国】政策並利宪委・央中報議事録 22:30 【米国】11月消費者物価指数				30年債	3.184%	3.133%
22:30 【米国】12月ニューヨーク連銀製造業景気指数				ドイツ10年債	0.301%	0.360%
22:30 【米国】12月フィラデルフィア連銀景況指数				英国 10年債	1.386%	1.441%
22:30 【米国】新規失業保険申請件数 22:30 【米国】失業保険継続受給者数				元日 10千日 1.0007 1.4417		
22:30 【米国】3Q経常収支				12/15 主要会議・講演・その他予定		
23:00 【カナダ】11月中古住宅販売件数				・英MPC(英中銀金融政策委員会)		
00.4E 【平田】40E	17_7/	23:45 【米国】12月マークイット米国製造業PMI 00:00 【米国】12月NAHB住宅市場指数				
				・EU首脳会議(~1□	6日)	

出所:SBILM

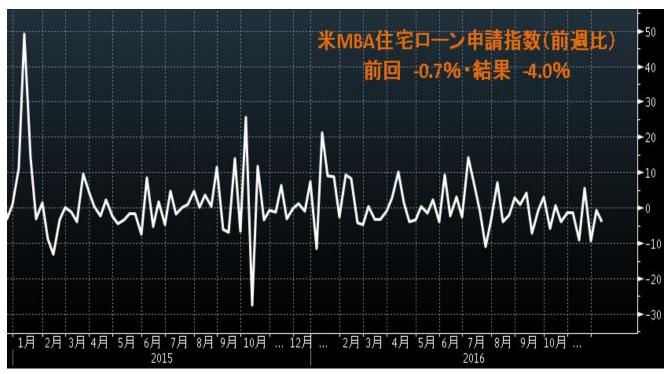


NY 市場レポート

21:00

≪ 経済指標の結果 ≫

米 MBA 住宅ローン申請指数(前週比) -4.0%(前回 -0.7%)



出所: Bloomberg

指標結果データ

≪MBA 住宅ローン申請指数≫

12/9・・12/2・・11/25・・11/18・・11/11・前年同期申請指数・・・・・-4.0・・-0.7・・-9.4・・5.5・・-9.2・・-5.2 購入・・・・・-3.3・・0.4・・-0.2・・18.8・・-6.2・・2.3 借換え・・・・・-3.6・・-0.7・・-16.2・・-3.1・・-10.9・・-11.7 固定金利・・・・-4.2・・-1.0・・-9.9・・5.0・・-9.4・・-5.4 変動金利・・・・-0.2・・3.0・・・0.4・・16.3・・-4.1・・-2.6

固定金利 30 年・・4. 28・・4. 27・・4. 23・・4. 16・・3. 95 固定金利 15 年・・3. 52・・3. 53・・3. 48・・3. 35・・3. 15

22:00

≪ 経済指標の結果 ≫

11 月ポーランド経常収支 −3.93 億 PLN (予想 - 7.80 億 PLN・前回 - 9.99 億 PLN)

11 月ポーランド貿易収支 0.3 億 PLN(予想 - 1.47 億 PLN・前回 - 2.00 億 PLN)







出所:Bloomberg

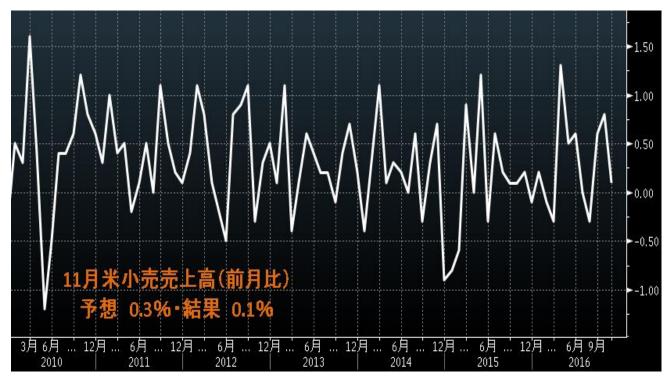
22:30

≪ 経済指標の結果 ≫

11 月米小売売上高(前月比) 0.1% (予想 0.3%・前回 0.6%) 前回発表の0.8%から0.6%に修正

11 月米小売売上高[除自動車] 0.2% (予想 0.4%・前回 0.6%) 前回発表の0.8%から0.6%に修正





指標結果データ

≪米小売売上高≫

11月・・10月・・9月・・8月・・7月・・6月・前年同月小売売上高・・・・0.1・・0.6・・1.0・・0.0・・0.1・・0.7・・5.3 除く自動車・・・・0.2・・0.6・・0.8・・0.0・・-0.4・・0.8・・5.1 自動車・部品・・・・-0.5・・0.5・・1.9・・0.0・・-0.4・・0.5・・3.3 建設資材等・・・・0.3・・0.3・・1.5・・-0.6・・-0.3・・3.8・・4.3 食品・飲料・・・・0.4・・0.7・・0.6・・0.5・・-0.4・・0.1・・3.1 総合小売店・・・・0.1・・0.7・・-0.4・・-0.6・・-0.6・・-0.6・・0.2・・-1.3 大規模小売店・・・・0.1・・0.7・・-0.4・・-0.6・・-0.6・・-0.6・・0.2・・-1.3 大規模小売店・・・・-0.2・・0.4・・-0.5・・-0.9・・-1.3・・0.0・・-6.4 無店舗小売店・・・・0.1・・1.4・・0.6・・0.5・・0.7・・0.1・・11.9 その他小売店・・・・-0.8・・0.6・・3.1・・-0.3・・-0.1・・-0.3・・5.8 (前月比%)

11 月の米小売売上高は、市場予想を下回る前月比+0.1%の 4655 億 1300 万ドルとなったが、引き続きプラスの伸びを維持した。自動車・同部品がマイナスに転じたことが全体を押し下げる要因となった。前年同月比では+3.8%となった。また、変動が大きい自動車・同部品を除く売上高も市場予想を下回る+0.2%、前年同月比では+3.9%となった。品目・業種別では、自動車・同部品が-0.5%、運動・娯楽が-1.0%、ガソリンスタンドは+0.3%、家具・装飾が+0.7%、食品・飲料は+0.4%、外食は+0.8%、建材・園芸は+0.3%。

22:30

≪ 経済指標の結果 ≫

- 11 月米生産者物価指数(前月比) 0.4%(予想 0.1%・前回 0.0%)
- 11 月米生産者物価指数[コア] 0.4% (予想 0.2%・前回 -0.2%)
- 11 月米生産者物価指数 (前年比) 1.3% (予想 0.9%·前回 0.8%)
- 11 月米生産者物価指数[コア](前年比) 1.6%(予想 1.3%・前回 1.2%)





指標結果データ

≪生産者物価指数≫

11月・・10月・・9月・・8月・・7月・・6月 最終需要・・・・・・・0.4・・0.0・・0.3・・0.0・・-0.4・・0.5 消費財・・・・・・・・0.2・・0.4・・0.7・・-0.4・・-0.4・・0.7 食料品・・・・・・・・・0.6・・-0.8・・0.5・・-1.6・・-1.1・・0.8 エネルギー全体・・・・・-0.3・・2.5・・2.5・・-0.8・・-1.0・・3.4 除く食品・エネルギー・・・0.2・・0.1・・0.3・・0.1・・0.0・・0.1 サービス・・・・・・・0.5・・-0.3・・0.1・・0.1・・-0.3・・0.4

11 月の米卸売物価指数は、総合指数が前月比+0.4%となり、市場予想の+0.1%上回った。前年同月比では+1.3%上昇し、2014 年 11 月以来の高水準となった。モノの価格はエネルギーが下がったものの、食品など幅広い項目が上昇、サービスも上昇した。変動の激しい食品とエネルギーを除いたベースでは前月比+0.4%、前年同月比では+1.6%。食品とエネルギー、貿易サービスを除いたベースは前月比+0.2%、前年同月比では+1.8%となり、2014 年 8 月以 来の伸びとなった。モノは、前月比+0.2%、前年同月比では+0.6%と、2014 年 10 月以来の上昇幅となった。食品は果物の価格が大きく伸び+0.6%、ガソリンなどのエネルギー価格は前月比-0.3%となった。サービスは前月比+0.5%、うち貿易は+1.3%、輸送・倉庫は+0.1%。

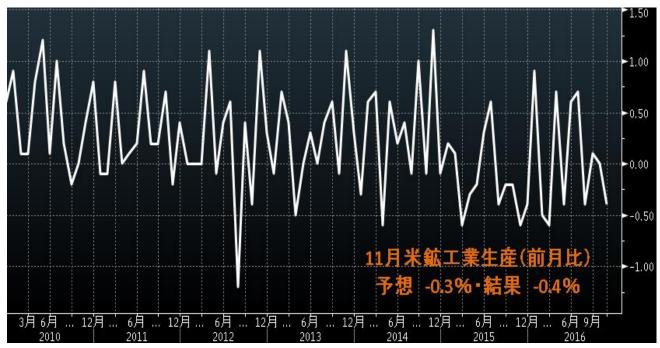
23 : 15

≪ 経済指標の結果 ≫

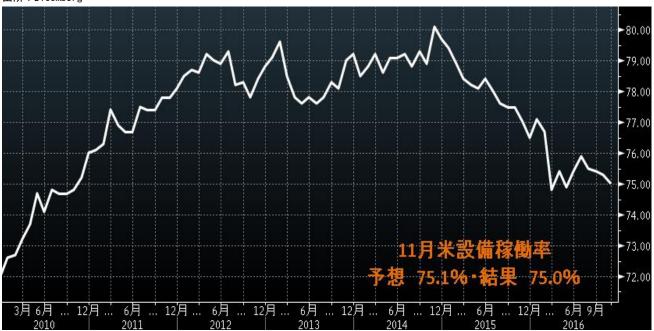
11 月米鉱工業生産(前月比) -0.4%(予想 -0.3%・前回 0.1%)前回発表の0.0%から0.1%に修正

11 月米設備稼働率 75.0% (予想 75.1%・前回 75.4%) 前回発表の75.3%から75.4%に修正









指標結果データ

≪米鉱工業生産・設備稼働率≫

11 月・・10 月・・9 月・・8 月・・7 月・・6 月
鉱工業生産・・・-0.4・・0.1・・-0.2・・-0.1・・0.4・・ 0.5
製造業・・・・・-0.1・・0.3・・ 0.2・・-0.5・・0.3・・ 0.3
鉱業・・・・・ 1.1・・1.9・・-0.1・・ 0.0・・0.7・・-0.1
最終財・・・・・-0.3・・-0.1・・ 0.0・・-0.1・・0.1・・ 0.6
原材料・・・・-0.7・・ 0.3・・-0.6・・ 0.0・・0.5・・ 0.7
設備稼働率・・・75.0・・75.4・・75.4・・75.6・・75.7・・75.4
製造業・・・・74.8・・74.9・・74.8・・74.7・・75.2・・75.0
鉱業・・・・・78.2・・77.1・・75.4・・75.3・・75.1・・74.3

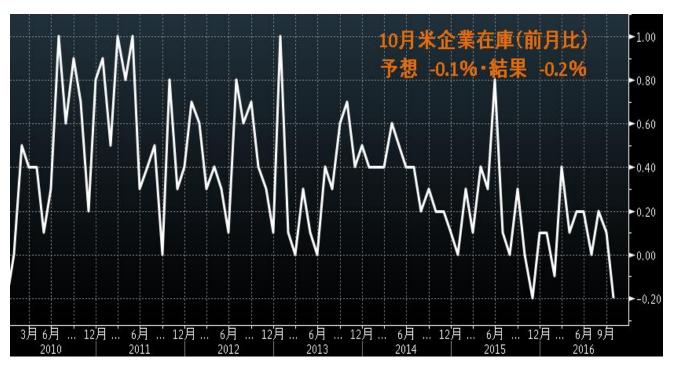


11 月の米鉱工業生産は、前月比-0.4%となり、市場予想の-0.2%を下回った。例年よりも気温が高かったことで暖房需要が伸びず、電力・ガスが大きく落ち込んだことが、全体水準を押し下げた。生産指数は、製造業が-0.1%と3ヵ月ぶりのマイナス。電力・ガスは-4.4%で3ヵ月連続のマイナスとなった。一方、鉱業は+1.1%となった。そして、11月の設備稼働率は、前月比0.4ポイント低下の75.0%となり、市場予想の75.1%を下回った。

0:00

≪ 経済指標の結果 ≫

10 月米企業在庫(前月比) -0.2%(予想 -0.1%・前回 0.0%)前回発表の0.1%から0.0%に修正



出所: Bloomberg

指標結果データ

≪米企業在庫≫

10月・・9月・・8月・・7月・・6月・・5月・前年同月比

企業在庫・・・・・-0.2・・0.0・・0.2・・0.0・・0.2・・0.2・・0.4 製造業・・・・・・0.0・・-0.1・・0.1・・0.2・・0.0・・-0.1・・-1.4 小売業・・・・・・-0.4・・0.0・・0.6・・-0.2・・0.4・・0.5・・3.3 卸売業・・・・・・-0.4・・0.1・・-0.1・・-0.1・・0.3・・0.2・・-0.4

10月・・9月・・8月・・7月・・6月・・5月・前年同月比

企業売上・・・・・0.8・・0.8・・・0.3・・-0.3・・1.0・・0.3・・・2.1 製造業・・・・・・0.4・・0.9・・0.2・・・-0.4・・0.6・・0.1・・・0.4 小売業・・・・・・0.7・・1.0・・-0.1・・・0.1・・0.8・・0.1・・・4.1 卸売業・・・・・・1.4・・0.4・・0.7・・・-0.6・・1.7・・0.7・・・2.2

10 月の米企業在庫は 前月比-0.2%の 1 兆 8129 億 6500 万ドルとなり、市場予想を下回る結果となった。また、前年同月比では+0.4% となった。製造業は横ばいだったが、小売業、卸売業がともにマイナスとなった。小売業、卸売業が前月比で共に-0.4%となり、小売業は 2013 年 3 月以来の落ち込みとなった。自動車・同部品を除く小売業は-0.2%。



0:30

≪EIA 米週間在庫統計≫

原油在庫・・・・256 万バレル減少 ガソリン在庫・・49.7 万バレル増加 留出油在庫・・・76.2 万バレル減少

クッシングの原油在庫・・122.3 万バレル増加

≪ NY 債券市場 ·午前≫

序盤のニューヨーク債券市場は、11月の米小売売上高が市場予想を下回ったほか、鉱工業生産指数が予想以上に落ち込んだことをきっかけに安全資産としての需要が回復し、長期債を中心に買いが先行した。ただ、米 FOMC の結果発表を午後に控えて様子見ムードも強く、短期債は小幅な値動きとなった。

午前の利回りは、30 年債が3.09%(前日 3.13%)、10 年債が2.43%(2.47%)、7 年債が2.21%(2.25%)、5 年債が1.88%(1.91%)、3 年債が1.44%(1.46%)、2 年債が1.16%(1.16%)。

4:00

≪ 経済指標の結果 ≫

米 FOMC 政策金利 0.50%-0.75% (予想 0.50%-0.75%·前回 0.25%-0.50%)



出所: Bloomberg

4:00

FOMC

- •「FF 金利誘導目標を 0.5%-0.75%に引き上げ」
- 「決定は全会一致」
- ・「漸進的な政策軌道をあらためて表明」
- ・「2017年は3回の利上げを当局者は予想、9月時点では2回」

FOMC 予測

- ・「2018 年末の FF 金利は 2.1%、9 月時点は 1.9%」
- ・「長期失業率は4.8%、9月予想と変わらず」
- •「2017 年 PCE 価格指数は 1.9%上昇、9 月予想と変わらず」
- ・「長期 GDP は 1.8%、9 月予想と変わらず」



4:40

≪ 要人発言 ≫

イエレン FRB 議長(定例会見)

- ・「FOMC は経済が著しく進展したと認識」
- ・「インフレ率は2%に近づいた」
- 「今後数年、緩やかな成長を当局者は予想」
- ・「雇用の状況、さらに幾分か改善すると予想」
- •「2%にインフレ目標へのコミットは変わらず」
- ・「財政政策の変化は経済見通しを変える可能性も」
- ・「ドットプロットの変化は極めて小さな調整」
- •「一部参加者は財政政策の変化を考慮に入れた」
- ・「税政策変化が生産性と投資高める可能性はある」
- ・「利上げは米経済への信任票」
- ・「インフレ、タイムリーな2%達成が望ましい」
- •「経済政策の詳細が判明すれば調整が必要になる」
- ・「債務の対 GDP 比を考慮する必要がある」
- ・「高圧経済が好ましいと言ったことはない」
- ・「FRB スタッフはトランプ氏の移行チームと接触」
- ・「4年の任期をまっとうするつもりだ」



出所: Net Dania





出所:Net Dania



出所:Bloomberg

≪ NY 金市場 ≫ NY 金は、中心限月が前日比 4.70 ドル高の 1 オンス=1163.70 ドルで取引を終了した。

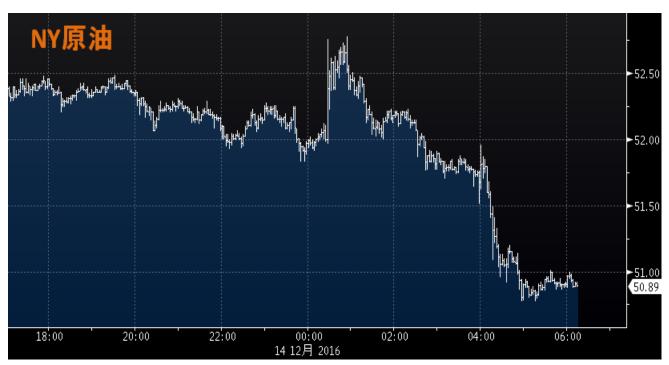
NY 金は、ドルが主要通貨に対して軟調に推移したため、ドルの代替資産とされる金を買う動きが優勢となった。ただ、FRB が追加利上げを決め、来年の利上げ回数の見通しも引き上げたことから、下げに転じた。





≪ NY 原油市場 ≫ NY 原油は、中心限月が前日比 1.94 ドル安の 1 パレル=51.04 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、FRB が 1 年ぶりの利上げを決め、ドルが主要通貨に対して上昇したことから、ドル建ての原油の割高感から売りが優勢となった。また、OPEC が月報で、11 月の加盟国の原油生産高が過去最高水準になったとの報告も嫌気された。



出所: Bloomberg



≪米株式市場≫

米株式市場は、米国の11月の小売売上高と鉱工業生産指数がそれぞれ市場予想を下回ったことを嫌気した売りが先行する一方、トランプ次期米大統領の経済政策を期待した買いも入り、序盤から売り買い交錯する動きとなった。その後は、FRBが利上げを決定したことを受けて、主要株価は軟調な動きが続いた。



出所: Bloomberg

≪外国為替市場≫

外国為替市場は、米 FOMC を控えて様子見ムードが強まっており、序盤は限定的な動きが続いた。FOMC では、1 年ぶりの利上げが決定されたことを受けて、ドル買い・円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ドル/円は 2 月 8 日以来の 117 円台まで上昇し、ユーロ/円は 5 月 31 日、豪ドル/円は 1 月 4 日以来の高値を付ける動きとなった。



出所:総合分析チャート



提供:SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、 複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。 また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。